

あなたにとって、2015年はどんな年でしたか？

みのり 農の里 2015

2015年の主な出来事

1月	厚真消防団・消防署厚真支署合同出初式(6日)、新成人41人が出席し第67回町成人式を挙(11日)、阿部昇秋田大教授を招き厚真町教育フォーラムを開催(17日)、第8回あつま国際雪上3本引き大会(18日)
2月	スターフェスタ2015inあつま「第16回冬の花火大会・『未』の千支文字焼き」、夢と希望の灯り2015光のページェント「第15回ランタン祭り」(7日)、名誉町民・前厚真町長 故・藤原正幸氏の厚真町葬を執行(8日)
3月	平成27年第1回定例町議会(4日)、厚真中央小が胆振管内教育実践表彰を受賞(4日)、お茶会ミーティング(18日)、高齢者大学修了式(25日)
4月	建設協会道路美化清掃(6日)、こども園つみきで厚真消防団(署)合同春季合同模擬火災訓練(7日)、高齢者大学入学式(22日)、まちなか交流館「しゃべーる」のオープン(23日)、田んぼのオーナー種まき体験(29日)
5月	新町町民広場にパーベキューハウス完成(1日)、厚真ダム水神宮で取水式(8日)、共和地区でワタミ(株)のメガソーラー竣工式(15日)、厚真ファーム新牛舎落成式(15日)、桜丘・森田さんの水田で御田植祭(20日)、田んぼのオーナー田植え体験(31日)
6月	平成27年第2回定例町議会(11日)、イオン環境財団が旧ゴルフ場跡地(高丘地区)で植樹会(13日)、第43回田舎まつり前夜祭・本祭(20~21日)、町と札幌市立大・同大学院が包括連携協定を締結(22日)、米国オレゴン州シェリダン日本語学校の生徒が来町し町内の中学生と交流(26~27日)
7月	三井物産プラントシステム(株)が厚真に太陽光発電所開所(7日)、地域おこし交流企業人として小松美香さん(ワタミ(株)グループ企業より派遣)へ委嘱状交付(13日)、第32回あつま海浜まつり(26日)、ともいきの里夏まつり(30日)
8月	厚幌ダムで定礎修祓式・定礎式(8日)、厚南会館と表町公園で商工会主催の盆踊り(14~15日)、第15回集まりンピック(第50回町民体育祭)(23日)、町戦没者追悼式(28日)、こぶしの湯あつま謝恩フェスティバル(30日)
9月	苫小牧厚真会が創立30周年記念で車いすを寄贈(4日)、平成27年第3回定例町議会(10日)、新日本海フェリーでチェンバロ演奏会(14日)、町敬老会(16日)、町交通安全協会主催の交通安全パレードを開催(26日)、町内の小学生がJR厚真駅舎の塗り替えを実施(29日)
10月	JAとまこまい広域が学校給食に新米寄贈(9日)、厚真シンポジウム(9~11日)、田んぼのオーナー稲刈り体験(10日)、第16回健康ふれあいマラソン大会(12日)、防火パレード(15日)、健康づくり講演会(29日)
11月	町表彰式で2団体・7人を表彰(3日)、町文化祭(3~4日)、むし菌のない子どもの表彰式で19人を表彰(13日)、田んぼのオーナー収穫米引き渡し(21日)
12月	歳末チャリティー即売会・演芸大会(1日)、厚真演芸寄席(2日)、まちづくり討論会(4日)、平成27年第4回定例町議会(10日)、町と室蘭地区トラック協会苫小牧支部の災害協定書調印式(14日)、交通安全・防犯町民集会(17日)

ワタミ(株)が共和地区に大規模太陽光発電所を開所

外食事業や介護事業、農業・環境事業などを展開するワタミ(株)とCSSが連携して開発・建設を進めていたメガソーラーの竣工式が共和地区の発電所敷地内で行われました。

敷地面積約25畝に太陽光パネル6万枚が設置され、発電、売電を行っています。

〔5月15日〕



厚真町と札幌市立大・同大学院が包括連携協定を締結

厚真町と札幌市立大・同大学院が包括連携協定を締結し、協定締結式が行われました。今後は、まちづくりや地域文化の育成・発展、産業振興、人材育成、学術などの分野で町と大学が連携していくこととなります。

〔6月22日〕



厚真の遺跡群が歴史の解明資料に？厚真シンポジウム

「厚真シンポジウム 遺跡が語るアイヌ文化の成立」が開催され、道内外からのべ300人が参加しました。シンポジウムでは、アイヌ文化の誕生と平泉藤原氏・鎌倉幕府の関わりなどについて、各分野の研究者らが報告・講演を行いました。

〔10月9~11日〕



町教育委員会主催の「厚真演芸寄席」が開催され、約450人が来場しました。

落語家の三遊亭小遊三師匠や漫才コンビのナイツなどが落語や漫才を披露。軽妙・軽快なトークやテンポの良い落語・漫才に、会場は熱気と爆笑の渦に包まれました。

〔12月2日〕



名誉町民・前厚真町長 藤原正幸氏町葬に約600人が参列

名誉町民であり前町長の藤原正幸氏が1月26日にご逝去され、厚真町葬が総合福祉センターで、町内外から約600人が参列し執り行われました。

藤原氏は、昭和23年に厚真村役場に奉職、39年余にわたり町職員として本町の発展に寄与されました。また、平成4年から4期16年にわたり、町長として町を愛し、町政の発展に多大な功績を残されました。

〔2月8日〕

厚真町まちなか交流館「しゃべーる」がオープン

厚真町複合型地域福祉活動拠点施設「まちなか交流館「しゃべーる」」がオープン。

館内には就労支援B型事業所「デイワーク「里工房ほっとす」やコミュニティカフェ、バス待合所、ベビーベッドや子ども用のイスが置かれた和室(多世代間交流スペース)、パリアフリーのトイレや授乳室もあり、幅広い年代の方がくつろいで交流できる施設となっています。

〔4月23日〕



町民の長年の悲願 厚幌ダムで定礎修祓式・定礎式

幌内地区の厚幌ダム建設工事敷地内で「厚幌ダム定礎修祓式・定礎式」が行われ、北海道や厚真町などの行政機関、地元関係者および工事関係者など約300人が出席しました。

定礎式では、高橋はるみ知事と宮坂町長による式辞や木島昇悦胆振総合振興局副局長による工事報告の後、高橋知事が定礎宣言を行い、各儀式が厳かに挙行されました。

〔8月8日〕

協働のまちづくりは、町民の皆さん一人ひとりが“主役”です。

豊かで美しい自然、人と人とのふれあいを大切にするまちを目指して

